

局所限局性前立腺癌に対する陽子線治療の 多施設共同後方視的研究のお知らせ

2008年1月1日より2011年12月31日までの期間に、局所限局性前立腺癌に対して、先進医療である陽子線治療を受けられた方の治療に関する情報を、後ろ向きに評価する研究を実施しています。この研究は、陽子線治療を受けられた局所限局性前立腺癌の方の診断、治療内容（照射線量分割）とその結果を多施設にて詳細に検討するものです。

当施設はこの共同研究に参加しており、データ解析のために当施設で陽子線治療を受けられた方の診療情報を名古屋市立西部医療センター陽子線治療科へ提供します。なお、詳細については名古屋市立西部医療センターホームページにてご確認くださいことができます。

【研究の目的】

陽子線による局所限局性前立腺の有用性と安全性を診療情報より調査して、今後の診療の改善点を明らかにすることで新たな治療戦略など、診療の質を向上させることを目的としています。

【研究の対象】

局所限局性前立腺癌にて、当施設で2008年1月1日から2011年12月31日に陽子線治療を受けられた方の診療情報（既存のカルテ情報）

【提供する情報】

性別、全身状態、治療開始時年齢、病歴、既往歴、腫瘍背景、手術の可能性、PSA値、Gleasonスコア、治療情報（陽子線治療、ホルモン治療）、治療結果等

なお、上記の名古屋市立西部医療センターのデータセンターへ提供する情報には個人を特定する情報（お名前、ID、住所等）を含まないため、個人情報外部に漏れることはありません。

この研究に参加されたくない（自分のデータを使ってほしくない）場合は、医療者にその旨をお伝えください。

2016年10月

筑波大学附属病院 放射線腫瘍科 : 櫻井英幸

本研究全体の研究事務局 問合せ先：名古屋市立西部医療センター

陽子線治療科 岩田宏満 電話番号：052-991-8121（代表）

本院での問合せ先：筑波大学附属病院 放射線腫瘍科 石川 仁

電話番号：029-853-7100（陽子線センター）